令和4年度(第44期)事業報告書

I. 当期の経営概況

令和4年度の業績としては、事業全体の経常収益では、2,790百万円(前期2,747百万円)となり、対前期比で101.6%の増収となりました。事業セグメント別では、健診事業(巡回健診、施設健診等)が対前期比で100.0%。健康増進事業(特定保健指導、メンタルヘルス)が102.6%の増収。医療事業(千代田循環器内科クリニック)が111.3%の増収。介護予防事業が106.3%の増収となりました。主な要因としては健診等受診者の増加とコロナ禍からの回復となっています。税引後当期利益は、5.7百万円(前期8.4百万円)となりました。

社内体制関連では、職員の「働き方改革」として、処遇に関する項目や品質や効率向上のための横断的な業務改善プロジェクトに取り組んでいます。

また、現行の健診システムが保守終了となるため、新健診システムの更新整備について取り組んでいます。今年度前半は、昨年度作成したシステム導入企画書に基づき、数社の健診システムについて情報収集を行い、候補となるベンダー向けに提案依頼書を作成・発行しました。年度後半で評価選考を行い、選定されたベンダーにより、システム利用部門への現状の問題点等のヒアリングを実施してシステム要件定義を完了しました。

各事業については、以下のとおりとなっています。

II. 調査研究および普及啓発事業(継1事業)

1. 調査研究

健診結果データをまとめた事業年報は、令和2年度の1年間分とし、10月に発行しました。研究発表では、第63回人間ドック学会学術大会や第65回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会にて学会発表を行いました。

区分	令和4年度	令和3年度
事業年報	480件	480件
研究発表	6件	2件

2. 普及啓発

広報誌発行では、事業場や団体、関係機関向けに年4回の配布を実施しました。

健康セミナーは感染症対策を行いながら現地参加方式で2月に実施しました。その他、他機関・団体の行うキャンペーンへの協力として施設内ポスター掲示やWebでの広報、事業所へのパンフレット配布を行いました。

区分	令和4年度	令和3年度
広報誌発行	8,550部	8,650部
健康セミナー(参加員数)	52人	92人(現地15、web77)

Ⅲ. 予防医療事業(他1事業)

1. 巡回健診および施設健診

区分	令和4年度	令和3年度
巡回健診(集団健診)	241,962件	251,363件
健康管理センター(施設健診)	26,535件	26,429件
高岡総合健診センター(施設健診)	36,615件	58,996件
とやま健診プラザ(施設健診)	47,545件	50,028件
定期健康診断等	188,853件	228,770件
雇入時健康診断	1,951件	2,364件
特殊健康診断	57,514件	57,375件
その他検査等	20,854件	19,143件
生活習慣病健診	50,514件	47,785件
ドック健診	6,394件	6,217件
住民検診	16,805件	15,106件
学校健診	9,772件	10,058件
精密検査の勧奨	5,740事業場	5,144事業場

※令和3年度健診実施数にコロナワクチン接種を含む。令和4年度は含まない

2. がん検診

がん検診状況は、全ての項目で増加傾向となりました。

区分	令和4年度	令和3年度
肺がん検診	167,430件	161,085件
胃がん検診	42,902件	41,549件
大腸がん検診	73,717件	70,110件
乳がん検診	18,388件	17,306件
子宮がん検診	13,404件	13,036件

3. クリニック(千代田循環器内科クリニック)

新型コロナウイルス感染対策を行いながら通常診療とコロナ陽性患者の診療を行いました。一般患者や健診受診者への感染を防ぐために感染対策をその都度行い患者の導線にも配慮しました。

循環器疾患や糖尿病は、新型コロナウイルス重症化の危険因子であり、専門外来での管理を求める方が多く患者数増加につながりました。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
患者総数	4,321 人	3,875 人
初診患者数	463 人	553 人
労災 2 次健診受診者数	110 人	129 人
新型コロナワクチン接種事業	1,357 人	133 人

IV. 健康づくり支援事業(他1事業)

1. 健康づくり支援

労働安全衛生法や高齢者医療確保法、健康増進法等に基づき、医師や専門スタッフを職場に派遣し、有所見者に対する保健相談や特定保健指導を行いました。その他、保健・運動・栄養スタッフを派遣し、出張教室を行いました。また、遠隔での健康サポートでは、特定保健指導で 65 件、産業保健相談で 66 件実施しました。令和 2 年度から協会けんぽ富山支部より委託を受けて実施している巡回健診当日遠隔面接支援事業については、事務職員等を 63 会場分派遣し 288 人に対して支援を行いました。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
運動・栄養・健康教室(訪問)	27 回	11 回
産業保健相談	1,166 人	1,103 人
特定保健指導	2,833 人	2,555 人
電話保健相談	307 件	514 件

2. メンタルヘルス

事業場に対してメンタルヘルスに関する教育研修を 50 回、従業員に対するカウンセリングを 244 回実施しました。また、とやま健診プラザにて、人事・総務担当者向けの集合型研修を実施し、15 事業場に参加を頂きました。令和 4 年 4 月には、中小企業に対してパワーハラスメントに関する相談窓口設置が義務化されています。このため、従来のメンタルヘルス不調者に対するカウンセリングに加え、ハラスメント相談の一次受付も開始しました。

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度
教育研修・セミナー	50 回	13 回
EAP(従業員支援プログラム)サービス	79 社	74 社
ストレスチェック(全衛連方式)	47,801 人 (男 28,741 女 19,060)	48,843 人 (男 29,739 女 19,104)
カウンセリング	244 回(うち WEB 6 回)	165 回(うち WEB 3 回)

V. 富山市角川介護予防センター事業

2022年4月1日から、富山市の指定管理委託(5年間、第3期目)の3年目をスタートしました。2022年度の利用者数は、72,406人、開館からの延べ利用者数は約83万人となりました。※人数集計は2月時点

区分	コース	令和4年度	令和3年度
基本事業	QOL ツアー	754人	619人
自主事業	運動温泉会員	519人	504人
	ビジター	6人	24人
	メタボ教室	170人 (特定保健指導11含む)	187人 (特定保健指導23含む)
	ロコモ教室	37人	48人
	脳活性化教室	93人	101人
	パーソナルケア	617人	141人
	フェルデンクライス	170人	30人
	自律神経検査	21人	23人
委託事業	事業対象者事業	88人	110人
	オンライン教室	10人	5人
イベント	気候療法	137人	50人

VI. 職員数

(正職員)

	令和4年度	令和3年度
医師	17名	18名
看護師・准看護師	39名	39名
診療放射線技師	22名	22名
臨床検査技師	23名	27名
保健師・管理栄養士	13名	10名
その他職員	105名	100名
合計	219名	216名

VII. 理事会・評議員会の開催

○理事会

第1回	令和4年5月	事業報告、計算書類、公益目的事業計画実施報告の承認、評議員会の招集の決定
第2回	令和5年3月	事業計画書および収支予算書の決議

○評議員会

第1回	令和4年6月	事業計画書および公益目的支出計画実施報告書等の報告 役員の選任
-----	--------	------------------------------------

■ 附属明細書について

附属明細書に記載が必要事項は財務諸表の注記に記載しており、また事業報告の内容を補足する重要な事項もないため、附属明細書の作成を省略する。